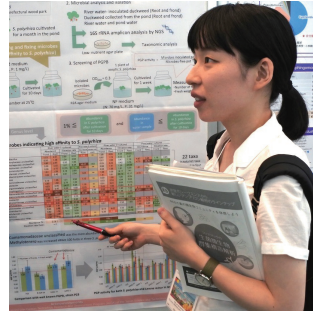


豊かな環境を 次の世代へ

豊かな自然環境を
次世代に残すために
必要な知識や技術を学ぶことで
自然と共生した持続可能な社会の形成に
貢献できる人材を育みます

環境科学科が育てる人材像

環境問題は、私達の暮らしに関わる問題が複雑に絡み合い、一人の専門家の能力ではとても対応しきれなくなっています。チームとして問題の解決に当たる必要があります。チームがうまく機能するには様々な分野の基礎的な知識を持っている人材や、その連携をとるコーディネーターも必要です。そこで環境科学科では、個々の専門分野の能力を持ちつつ、総合的に物事をバランスよく見ることが出来る人材、思いやりを持って人々の将来を考慮される人材を育てます。



環境科学科での学び

本学科は、人類の生存基盤である地球環境の理解を通じ、自然と共生した持続可能な社会の形成に貢献できる人材を養成します。そのために、環境に関わる学問的課題や社会的課題を自ら見出し、多様な人々と協働しながら課題解決に取り組む力を養います。

本学科で身につく具体的な能力・素養

・環境問題の背景と概要に関する「基礎知識」

| | | |
|--------|----------|------------|
| 共生科学入門 | 生命環境基礎ゼミ | |
| 生物学概論 | 生物資源実習 | 環境科学概論 |
| 生物資源論 | 基礎統計学 | 基礎統計学演習 |
| 基礎数学 | 基礎数学演習 | 基礎環境化学 |
| 基礎解析学 | 基礎有機化学 | 基礎物理学 (ほか) |

・大気・水・土壌・生物と人間との関わりに関する「専門知識」

| | | |
|----------|------------------|----------|
| 環境科学基礎ゼミ | 地球科学 | 生態学 |
| 生物分析化学 | 基礎微生物学 | 経営学概論 |
| 気象学 | 水循環学 | 森林環境学 |
| 分子生物学Ⅰ | 水圏科学 | 大気環境科学 |
| 土壌学 | 植物環境学 | 環境毒性科学 |
| 環境政治論 | 行政法Ⅰ | 環境経済政策論Ⅰ |
| 生物多様性科学 | エネルギーマネジメント (ほか) | |



生物資源実習
(1年生)



河川実習
(3年生)

・人間活動の影響を評価するための「環境計測技術」

| | |
|----------|--------------|
| 環境科学基礎実験 | 環境情報学及び演習 |
| 森林生態学実習 | データサイエンス及び演習 |
| 土壌学実習 | 大気科学実習 |
| 環境生物学実習 | 環境データ解析実習 |
| 河川実習 | 水処理微生物学および実習 |

・環境管理・修復に不可欠な「環境保全技術」

| | | |
|------------|----------------|---------|
| 自然保護学 | 大気環境保全学 | 土壌環境保全学 |
| 流域管理学および実習 | 環境アセスメント学および実習 | |

・アクティブラーニングにより得られる「主体的に考える力」と「他者との対話や合意形成のための素養」

| | | |
|----------|-----------|---------|
| 環境科学演習Ⅰ | 環境科学演習Ⅱ | 環境科学演習Ⅲ |
| 環境科学特別講義 | インターンシップⅠ | |
| 環境科学卒業論文 | (ほか) | |



環境生物学実習
(3年生)



環境モデリング実習
(3年生)

学科イベント

環境科学科では、様々な学科イベントが行われています。そのため、学生同士はもちろんのこと、教員と学生が交流する機会も多く、学科全体がアットホームな雰囲気となっています。



オリエンテーション合宿
(1年生)



教員・学生交流バーベキュー
(2年生)

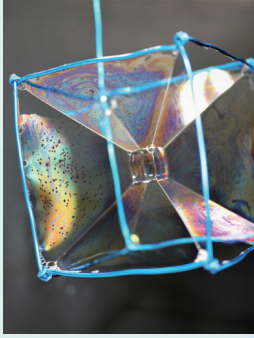


研究室選択・進路支援合宿
(3年生)



卒業祝賀会
(4年生)

各教員の研究テーマ



大自然に潜む「カタチ」の不思議



教授
島 弘幸

動植物や大自然の景観が私たちに魅せる美しい「カタチ」を科学的に調べています。その不思議な形成メカニズムを解明することで、大自然に横たわる新しい科学法則の発掘を目指しています。



大気中微量化学成分の動態と環境への影響



准教授
松本 潔

微量化学成分の大気環境中での動態についてフィールドでの観測に基づく研究を行い、これらの成分が気象や気候、生態系に与える影響の解明を目指しています。

衛星観測・数値モデルによる河川流量測定



教授
石平 博

数値モデルや衛星観測技術を用いて、世界の様々な地域における河川流量を推定・予測する方法の開発に取り組んでいます。

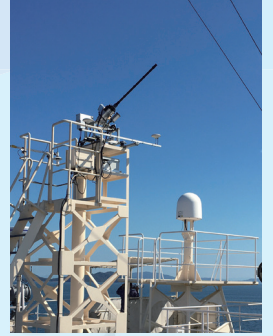


大気と海洋環境を対象とした光学観測



准教授
小林 拓

海の汚れや気候に影響を与える微粒子の量や性質を宇宙から調べる（リモートセンシングといいます）ための基礎的な研究を行っています。

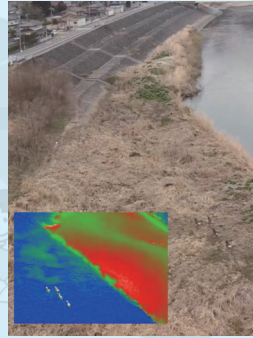


流域の物質循環と健康・生活



教授
西田 純

森林・農地・都市の水と栄養のバランス、地下水の涵養と汚染の仕組み、感染症、水や農業と福祉・経済の関係について、山梨・アジア・アフリカ・欧州の各地で調査と研究を行っています。



流域～全球スケールの水循環



准教授
馬籠 純

衛星・地理情報と数値モデルを駆使して、水循環と社会の関係性について、流域スケールと全球スケールの2つの視点から研究を行っています。

流域生態系における食物網の構造と動態



教授
岩田 智也

陸-河川-海洋間の物質フローの経路とダイナミクスを調べることで、流域における生物群集の維持機構を明らかにしていきます。

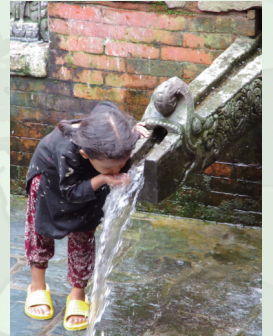


環境微生物を利用した水処理技術

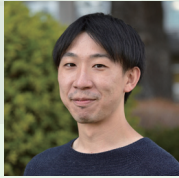


助教
亀井 樹

微生物の力を用いた排水・上水処理技術を研究・開発し、環境に配慮しながら私たち人間が健康で安心・安全な生活を維持できる社会の構築を目指しています。

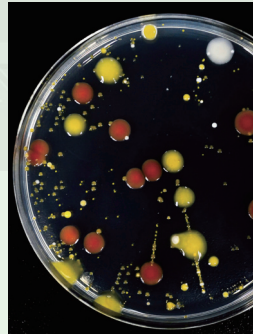


植物に対する環境ストレスの影響



助教
黄瀬 佳之

大気汚染や気候変動が植物に及ぼす悪影響の解明とその対策に取り組み、食料生産や温暖化防止などの植物が有する有益な機能の維持・発揮を目指しています。



新しい微生物資源の開拓と利用



准教授
田中 靖浩

培養が難しい未知微生物の分離培養を可能とする技術の開発。取得した未知微生物を用いた環境保全や浄化、有用物質生産等に関する研究を行っています。

森林生態系における物質循環

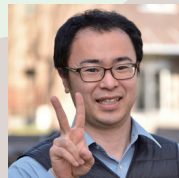


助教
向井 真那

樹木はどのように効率よく土壌から栄養を獲得しているのでしょうか。様々な森林を比較しながら、直接は見えない地下部に着目し、土壌と樹木の相互作用の観点からその戦略に迫ります。



土壌微生物の生態と有効利用に関する研究



准教授
片岡 良太

土壌微生物の機能を利用して環境を制御することを目標に研究を行っています。室内実験と屋外での調査・研究を互いにフィードバックさせながら自然の実態に肉薄したいと考えています。



大学院について

環境科学科から本学大学院に進学する場合、修士課程：生命環境学専攻または工学専攻に進学できます。さらに、博士課程：工学専攻に進学できます。

修士課程では専攻に応じて下記の特別教育プログラムを受講できます。

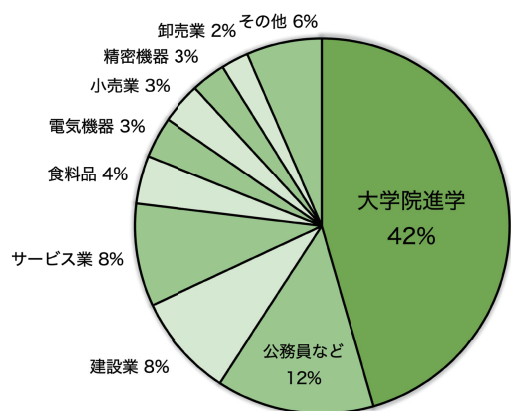
- ・山岳科学特別教育プログラム
- ・流域環境科学特別教育プログラム
- ・協応行動科学特別教育プログラム



卒業生の進路

卒業生の多くは環境コンサルタント業や環境分析業（上図ではそれぞれ建設業、サービス業に入ります）などの環境産業、自治体や各種公共団体で活躍しています。

また、卒業生の4割が大学院に進学し、より高度な専門性を身につけて社会で活躍しています。



| 進学 | 山梨大学大学院（生命環境学専攻、工学専攻） 東京大学大学院 北海道大学大学院 筑波大学大学院 東京農工大学大学院 | |
|----|---|--|
| | 京都大学大学院 名古屋大学大学院 お茶の水女子大学大学院 など | |
| 就職 | <公務員など> 国土交通省 林野庁 山梨県庁 静岡県庁 山形県庁 甲府市役所 静岡市役所 浜松市役所 三島市役所 豊田市役所 日本下水道事業団 など | <一般企業> 東海旅客鉄道 パナソニック NTTファシリティーズ 明星電気 積水アークシステム アジア航測 日立パワーソリューションズ 山梨中央銀行 静岡銀行 山崎製パン ヤマハ発動機 など |

在学生からのメッセージ



2021年度入学
倉田 真綺さん

先生と学生の距離が近く、授業の他に実験や実習であらゆる環境の不思議を学べてとても楽しいです！



2021年度入学
天野 佑海さん

環境について広く学ぶことができ、さまざまな現象が身近に感じられるようになります。



2020年度入学
駿河 萌さん

アットホームな雰囲気の中で、環境について幅広く学ぶことができます！



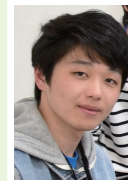
2020年度入学
安田 圭佑さん

様々な実験や実習を通して楽しく知識を深めることができます。



2019年度入学
中野 佐耶さん

自然環境への関心や理解を深め合える楽しい仲間に出会えます！



2019年度入学
田中 優希さん

身近な自然現象についても学ぶことができる学科だと思います。

山梨大学 生命環境学部 環境科学科

TEL/FAX: 055-220-8666

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

<https://www.ev.yamanashi.ac.jp/>（学科ホームページ）

https://twitter.com/OfficialUY_EV/（学科公式Twitter）



ホームページ



Twitter